



# 常任委員会の活動

## 総務文教常任委員会

平成22年11月18日に所管事務調査を行いました。

### 一 市立小学校11校整備計画地区説明会後の経過について

第一回目の説明会で、現在の児童数の減少では適正規模校として教育環境を整えるための整備はやむを得ないとの受け止め方が各地区にありました。

その後、安田地区は小学校PTA役員の要請で説明会を開催、統合に対する率直な意見があり、又、8月に国が示した教職員定数改善計画案による少人数学級(35・30人学級)の推進で、安田地区は整備計画の学級編成に変更が生じる新たな問題点も説明ありました。水原地区の分田地域からは地域の核として小学校を大事にしていきたいという話しも聞いており、教育委員会としては各地域での関心

### 二 堀越小学校耐震補強・大規模改造工事の現地調査について

堀越小学校は平成6年に大規模改造工事を実施しており、今回の工事内容は耐震補強がほとんどでした。耐震補強としては基本的に補強ブレース(筋交い)を入れる工事が中心で、大規模改造として玄関・各階教室の出入口扉・トイレ・ペランダ等の改修、機械設備工事として空調機器の増設、電気設備工事としてコンセント配線、照明器具の取替等でした。学校側から校舎がきれいに明るくなったから、子どもたちがより明るくなったと喜びの声が聞かれました。



理科室(鉄筋の補強筋交い、照明器具取替)

### 三 市民交流エリア検討委員会の進捗状況について

5月31日の第1回検討委員会で市長から「市民交流エリアの基本的な整備計画の取りまとめ」を諮問され、外部コーディネーターや講師を招いて全国の状況を学び、先進地視察を行うなど慎重に審議し11月4日市長へ基本計画を答申しました。答申は整備が望まれる施設の具体的な内容まで踏み込んでいないため、施設整備の際は市の経済を支える各分野の代表、参画意欲のある事業者となりうる委員を補充した準備委員会を結成し具体的な整備計画の検討を進めるべきと提言。今後のあり方としてコンサルタント等専門家の意見を交えながらみんなで設計し運営する仕組み

の高さを改めて考えさせられ、今後京ヶ瀬・水原・笹神の3地区についても再度説明会を行い、整備計画の基本的な考え方を基に、地域の状況を踏まえた学校整備の一番良い方法を模索していきたいとのこと。今後は市の総合計画や財政面、地域の伝統・文化、小規模校のメリット、デメリットなどを含めた説明の必要性、地域と教育委員会の認識のギャップを考え、地域の意見を十分受け止め、国の計画や条件の変化等新しい状況で整備計画を再検討し、進めていただきたいものです。

にすべきとしました。この答申を受けて市は今後準備委員会を設置し計画策定の準備に入る予定です。

委員からはこの事業は市の経済振興や地域活性化に多大な影響を及ぼし、地元の有志やる気のある方々が参画し進めていくべきものと思うが、これまでの福祉の道構構の反省点を踏まえて諸問題を解決し、しっかりと取り取りをしなければうまくいかないのではないか。整備計画の進め方や準備委員会の位置付けも最終的に市長の判断に委ねるところが多分にあるとの意見が多数ありました。

### ○閉会中の継続調査事項(3月定例会まで)

(1)(仮称)阿賀野市まちづくり基本条例について

## 産業建設常任委員会

平成22年11月9日に所管事務調査を行いました。

### 水原郷病院民営化後の状況について

まず診療・接遇関係については、特に大きな混乱や不具合は発生することなく経過しているとのことでした。効率的な要員配置と操作機能への不慣れから、受付窓口や検査実施等の一部で待ち時間の超過や不慣れな対応があったとのことですが、これは情報システムの整備や経験を重ねることで今後解消されていくものと思われまます。利用患者数が昨年同月と比較して減少している点は、看護師に負担をかけないよう入院制限をしているためであり、単価は上がっているため収益はあまり減少してないとのことでした。

人事関係では、10月29日付けで県労働委員会から、水原郷病院労働組合他から不当労働行為救済申し立てがあり、審査が開始される旨の通知があったとのこと。職員の雇用については、厚生連の採用試験を受けなかった32人と不採用等6人(計38人)を対象に進路意向調査を実施。市に何らかの

### ○閉会中の継続調査事項(3月定例会まで)

(1)水原郷病院民営化後の状況について  
(2)環境センターの管理運営状況と最終処分場について



対応を希望すると回答した14人に対して、関係機関への採用依頼やハローワークとの連携、説明会・個別相談を実施した結果、1人を除き進路が決まりました。新病院建設の検討体制についても今後関係機関を巻き込んで進めていかなければならぬとして構想を練っている段階です。委員からは、取引業者を極力地元にももらいたいという要望や、給与の差額補てん、副次医療圏構想についての質問が出たほか、厚生連・市・市議会の三者がどのような関わり方をしていくのかを明確にすべきとの意見があり、委員会として病院運営協議会の早期設置を求め、今後も随時経過を注視していくことを確認しました。

平成22年10月26日に所管事務調査を行いました。

### 県事業要望箇所について

県事業の要望については、道路、河川等県が管理する施設について整備促進を要望するため、今年8月に新発田地域振興局から地域整備部長及び農村整備部長をはじめ各担当課長から出席いただき、直接現地で説明しながら要望を行ったもので、この要望会には議会からも議長、産業建設常任委員会委員長が同行いたしました。今回、産業建設常任委員会においても、これらの情報共有を図り一層の整備促進を進めることを目的に、現地調査を含め改めて問題箇所の確認を行ったものです。県事業の要望は、地域整備部へ国道460号はじめ道路整備16箇所、駒林川など河川整備6箇所、農村整備部へは農道整備1

箇所、安野川はじめ河川・水路整備4箇所の27箇所の要望を行っています。このうち今回は11箇所について現地調査を行いました。阿賀野市には、県管理の河川及び県管理の国道・県道が数多く存在するため、災害に強い街づくりのための治水対策としての河川整備と、各地域や主要施設間のネットワーク化推進のための道路整備など、県と連携した整備が欠かせないものであるため、常任委員会においても一層の整備促進に向け取り組んでいくことといたしました。

### ○閉会中の継続調査事項(3月定例会まで)

(1)商業振興施策の取組状況について  
(2)産業経済振興条例に基づく施策の展開について



整備要望箇所